

2016.9.16. 11:00～12:30 330-A 地区 事務局

<緊急インタビュー100周年記念パレードについて>

～広報情報委員会 330-A EXTRA NEWS～

出席者：キャビネット会計	L 田中 忠男
ガバナー補佐	L 高桑 昌彦
PR 委員会 委員長	L 戸田 一郎
薬物乱用防止特別委員長	L 寺田 義和
共同 PR 社	長尾 寛氏
聴き手：広報情報委員会	L 赤尾 嘉晃

テーマ： 10.29 100周年記念パレードを成功に導くために

目的：本アクティビティが、メンバー皆に理解され、協力、支援、参加を円滑に得られるために、「それぞれのパレードへの思い」と次の100年に向け「ライオンズの未来」について語っていただいた。

① 100周年記念アクティビティとして、パレードを企画し始めた時期は？

回答者：L 高桑昌彦、L 寺田義和、長尾寛氏

・企画し始めたのは、

村木 G が第2副地区 G に推挙されたのち2014年9月ころです。また後述しますが、大石 G 期の2011年10月の日比谷公会堂での薬物乱用防止大会が出発点かもしれません。大会以降も「命をつなぐ」というテーマで様々なアクティビティを継続してまいりました。



2016.9.16.11時00分～12時30分 於：330-A 地区事務局

②100周年記念アクティビティとして、パレードを企画した理由は？

回答者：L 高桑昌彦、L 寺田義和、

・理由は、

- 1、G 推挙の 2 年後の 100 周年には「何かやりたい」とクラブ、スタッフで話し合っていた。
- 2、大石 G 期に開催した日比谷公会堂での薬物乱用防止大会時（2011.10.16.約 2,000 名参加）に、警視庁からパレードを日比谷公園近隣で行ってみてはと提案を受けていた。準備の時間がなく断念していた。
- 3、アクティビティにおいて国（省庁）からの後援をもらったのは 2011 年 10 月 16 日の本アクティビティが LC 初であった。その後関係省庁との交流は継続していた。
- 4、薬物乱用防止認定講師の制度が始まって 20 年目となる。330-A 地区から全国の LC へ広まった薬物乱用防止運動が、今や青少年健全育成のテーマの一つとなり、日本を取り巻く社会問題も含めて注目度も高く、発信力の強さを兼ね備えている。
- 5、全国的に知名度の高い「数寄屋橋交差点」をコースに入れ、警視庁、警察庁、そして各省庁（内閣府、厚生労働省、文部科学省）の後援を得て、公式な形のパレードでライオンズクラブの存在と設立 100 周年を発信するために行う。

以上 5 つの理由から、

私たち 330-A 地区及び全日本ライオンズは、テーマを「薬物乱用防止運動啓蒙」とし、パレードで様々な情報を発信、丸の内署から数寄屋橋交差点、丸の内オフィス街、日比谷公園という史上初の経路で、誇り高く 100 周年記念パレード行う。



左から L 田中忠男、L 高桑昌彦、L 戸田一郎

以下 7つの質問をいたしました。

- ③ 会員増強を目的とした仕掛け、秘策について
- ④ メインテーマを「薬物乱用防止」にした理由について
- ⑤ パレードにおける薬物乱用防止運動の情報発信の方法について
- ⑥ メンバー、企業様からの協賛、支援の広がりとお手ごたえについて
- ⑦ パレードの記録・情報発信と100周年記念誌の内容と発行スケジュールについて
- ⑧ 本事業の予算について
- ⑨ 次の100年、LC国際協会330A-地区のあるべき姿、目指す運動の方向性について

今回は、①②のみのお届けです。詳しくは10月18日ころ公開予定の電子版または、10月25日ころお届けの小冊子センターページのインタビュー特集をご覧ください。
電子版 <http://www.lions-news.com/>



左 L寺田 義和、

右 共同PR社 長尾 寛氏

略文字記号について

LC：ライオンズクラブ G：ガバナー L：ライオン

PR：自身に対して理解や信頼を獲得しようとする目的で行われる広報活動又は宣伝活動を含む概念。

編集・写真撮影：広報情報委員会

当日スタッフ：L赤尾、L後藤、L吉岡、L桂